

琵琶湖を復活させよう！

# 歴史と文化から 琵琶湖の明日を考える

資料代  
試食会含  
300円

## 「講演会と外来魚のなれずし試食会」

講演者

辻田 啓志 さん

(元琵琶湖総合開発差し止め訴訟原告団代表)

外来魚なれずし試食会

田中 健雄 さん

(滋賀県外来魚有効活用研究会代表)

日時：9月18日(土) 午後1時半～5時

場所：ウォーター・ステーション琵琶湖

大津市黒津4-2-2

JR石山駅または京阪石山寺駅より

京阪バス(大石小学校行き)南郷洗堰下車  
徒歩約5分(無料駐車場あり)

TEL：077-536-3520(代)

比叡山は世界遺産に登録。しかし、その表の顔である琵琶湖はといえば、水は汚れる一方、鯉ヘルペスなど原因不明の出来事が続出、湖岸には高層の建物が林立、近江八景はずたずた、まだまだ続く湖畔の開発。このままでは自然環境が破壊され続けるだけではなく、かつて「嶋(にお)の海」の古名でも知られた琵琶湖の歴史と文化も衰退の一途をたどることになりかねません。このたびは、1970年代から琵琶湖総合開発差し止め訴訟などの活動をとおして琵琶湖の問題に深くかかわってこられた辻田啓志氏にとくに歴史的・文化的な背景という観点から琵琶湖復活の可能性についてお話しいただきます。また当日は同時に、鮒鮓にヒントを得てブラックバスやブルーギルのなれずしの商品化に取り組んでおられる田中健雄氏に、「びわこの外来魚問題...情報公開を通してわかったこと」と題してお話しいただき、試食会を催します。琵琶湖に関心をお持ちの方、ぜひおこしください。



田中さんが漬けられた「外来魚なれずし」。失われつつある滋賀の食文化の手法を取り入れ、試行錯誤の末、完成されました。写真左がブラックバス、写真右がブルーギル。